

コンクリート表面保護工の作業手順

制定・改定日 2023.2.17

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	・作業内容の確認 ・作業人員の確認 ・保護具の点検 ・使用機械、資材、工具の点検 ・規制内容の確認	・指示書の内容確認 ・安全打合せ書による ・作業別安全チェックシートの活用 ・使用機材の搬入、設置を行い各機械の点検整備を行う。
表面処理作業 ウォータージェット工法	・施工範囲の確認を確実に打合せする。 ・センターライン側にはみ出し防止のためのマーキングをする。 ・給水車から水中ポンプにより超高圧ポンプに水を流入する。 ・流入された水はノズルより超高圧水になりコンクリート表面を研掃する。 ・作業時に出る汚濁水は吸引式ハンディー回転ジェットよりバキューム車へ回収する。	・着手前に施工箇所の確認を行う。 ・作業に合った保護具を着用する。 ・安全帯の使用を確実に行う。 ・道具の落下防止行う。
表面処理作業 ディスクグラインダー ワイヤーブラシ	・ウォータージェット機械のせこうが不可能な場所についてはディスクグラインダー ・ワイヤーブラシにて表面処理を行う。	・着手前に施工箇所の確認を行う。 ・作業に合った保護具を着用する。 ・手持ち式振動工具取扱説明書を確認しながら工具を取り扱うこと。 ・安全帯の使用を確実に行う。 ・道具の落下防止行う。。 ・飛散防止処置を確実に行う。
排水処理作業	・バキューム車により回収した汚濁水は仮排水槽に収集する。 ・沈殿剤にて上澄み水汚濁水に分け、上澄み水はPH測定を行う。 ・標準値内になるよう中和剤にて中和処理をする。 ・PH/SS値が規定内であれば排水溝に放流する。 ・泥は産業廃棄処理とする。	・使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 ・撤去忘れの無いように確認する
後片付け	・道具・材料を機材車へ積み込む	・使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。 ・撤去忘れの無いように確認する

作業編成(標準)		機材		資材		安全器具・保護具	
作業責任者	1 名	攪拌機		下塗り塗料		ヘルメット	
現場監視員	1 名	発電機		上塗り塗料		反射(自発光)チョッキ	
作業員	3 名	ローラー刷毛				警笛	
交通誘導員	道路事情による					保護メガネ	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

■注意事項(共通の指導事項)

- 1.作業に合った保護具を使用する。
- 2.高所作業車を使用する場合は、有資格者による操作を行う事。
- 3.高所作業車を使用する場合は、安全帯の使用を確実に行う。
- 4.材料の攪拌については、ムラが起きない様に、十分攪拌する。
- 5.材料の攪拌場所は、路面が汚れない様にシート等で養生をしてから作業をする。
- 6.作業時は、一般車両の通行に配慮する。場合によっては、道路使用許可を得る。
- 7.一人作業の禁止